



思いが叶う能美市に！

令和7年 第52号

市内全戸配布版

～能美市政報告～

能美市議会議員
たなか さくじろう
田中 策次郎

糸
きずな



3/31 三道山町と三道山子ども食堂の親子41人が参加の、ボーリング大会が開催されました。
3歳から81歳の方が交流を深め、みんな笑顔・笑顔の一日本でした。♥



3/24 83回目の能登物資支援まわり この日は子ども子育て世代支援を中心に保育園・小学校・仮設住宅・集会場・被災者宅など15カ所を回りました



4/9 能美市内能登避難者支援「お花見＆じんのびカフェ」に 30人が参加 (昨年は花見する気持ちになれなかったとの事)



震災から2度目の春 能登にも満開の桜 頑張ろう能登！

令和7年3月～4月の活動



・シェアキッチンで市の活性化を

シェアキッチンとは、保健所の菓子製造許可や飲食店営業許可を持った施設で、食品衛生管理者の資格を持った者が利用すれば、厨房で作った食品を販売できるようになる。市内の創業支援や農業の次産業振興、居場所づくり、地域のつながり場所、町なかの賑わいづくりにつながる、市の公共施設の調理室等を活用し、菓子製造・飲食店営業許可を取得したシェアキッチンを作れないと。

中川 真 産業交流部長

アキッチンの導入は短期間や時間単位での利用が可能であり、初期費用を減らすことができるため、創業者にとっては魅力的である。施設管理を、公共か民間か、色々あるかと思うが、誰がやり、どうすべきか、よりニーズを把握し精査して対応する必要がある。シェアキッチンに対する需要や具体的なニーズを把握し、地域経済の活性化に向けた多様な支援策を模索し、適切な対応していく。



市議会 YouTube 田中策次郎 3月一般質問

●ドローンの多様な活用について

市への提案として、ドローンの操縦体験、ドローンレースの体験、産業用ドローン展示などイベント開催。市主催のイベントの空撮、PRでの活用。秋常山前方後円墳をドローンで撮影しホームページで3Dの古墳の掲載。

また、県内では初となるドローンの空撮のコンテストができないか。空撮コンテストは、観光客にドローンを貸し出して、出品者が自分で空撮して撮ってきた映像をその場で10秒から20秒のSNS用のショートムービーを編集して成果物をコンテストで採点するものです。参加者がおののおのSNSで発信し、インフルエンサーとなれば、能美市の観光情報の発信にもつながる。民間団体・民間事業者と連携し、ドローンの多様な活用を進めることができないか。

答 中川 真 産業交流部長

ドローンは、上空からの高品質な空撮映像や高い機動性による物流への活用など、行政各分野で大変有益なツールである。これまで民間事業者と連携し、SNSなどで市の魅力を伝える強力な観光プロモーションツールとして、また土木、農林や防災分野においても活用が広がっている。ドローンは、提案のドローンレース体験をはじめ、これまでにない様々な方面的の活用が可能であり、今後、交流人口の拡大に向け、民間事業者との連携により、ドローンを活用した効果的な観光誘客事業の展開ができるか検討する。

●災害備蓄について

能登の災害を教訓に、使い捨て凝固剤トイレの効果的な使い方、凝固剤がない場合のトイレの使用法も学ぶ必要がある。寝場所について、段ボールベッドが設置できるまでの寝場所の作り方や、高齢者は備蓄の毛布だけでは段ボールベッドの上でも痛くて寝れないという声も多く、マットやクッションが多く求められた。能登地震では、半壊の自宅から毛布や布団を取り出す方がいました。しかし、津波が来たところでは一切の物も取れず、市の備蓄だけで過ごさなければならず、毛布の枚数が足りずビニールシートの上で毛布1枚で多くの方が寝ていました。個人備蓄は、能美市全体で災害が起ったときに、一番大きな被害に遭った地域の方々を守るためにも必要と考える。市の備蓄の拡充と共に、個人の災害備蓄品で、どのような災害用品が役立ったか、どのような災害用品を個人で備蓄すれば安心なのかを紹介・周知する事が必要と考える。新たな災害用品の導入や個人備蓄の啓発や紹介をすべきと考えるが、市の対応を問う

答 井出 敏朗 市長

トイレと水は備蓄による対応だけでなく、機材レンタル業者からの仮設トイレや浄水器等の早急な調達により、早期の環境改善を目指し、引き続き協定締結企業との連携強化も図っていく。

避難所と同様に家庭備蓄も重要で、ライフラインがストップしても自宅で生活を継続するために必要な備蓄品、あるいは自宅から避難するときや避難先で必要となる持ち出し品を自宅の災害リスクや家族の状況を考え、備えておくことが大切。食料等の家庭備蓄の方法として、ふだんの生活の中で消費しながら備えるローリングストック法を紹介している。また、防災センター4階の展示コーナーで、災害時の持ち出し袋の中身について家族で楽しみながら考えるコーナーを新たに設置した。防災フェスタ等のイベントにおいても、引き続き家庭における備えの大切さを市民に伝える機会を設ける。災害により、避難生活が必要となった場合にも、良好な生活環境が確保できるよう、市では備蓄品の整備と事業者との連携体制を強化していくとともに、家庭備蓄の普及についても防災士の協力を得て、効果的な啓発により市民の防災意識を高め、地域防災力を強化していく。

ご意見・ご相談等がございましたら下記まで☆

ご返答希望の方は連絡先をお忘れのないように願います。

能美市議會議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町16-2
TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
Mail 3926@nomi-city.net <http://3926ip.net>

